

今井 晋氏の逝去を悼む

キリスト教学の非常勤講師を多年務められ、設立時から本学会を支えてこられた今井晋氏が二〇一〇年四月五日逝去された。

略年譜

- 一九二二年 八月 京都府に生まれる。
- 一九四八年 九月 学徒出陣後復学して京都大学文学部哲学科卒業。
- 十月 明治学院高等学校教諭。
- 一九五三年 四月 明治学院大学講師兼任。
- 一九五四年 四月 同志社大学法学部専任講師（宗教学担当）。
- 一九五六年 四月 同大学法学部助教。
- 一九五七年 四月 日本基督教団補教師准允。
- 一九六〇年 九月 WCCフェローシップでテュービンゲン大学留学（一六二年九月）。
- 一九六三年 四月 同志社大学法学部教授。
- 四月 京都大学大学院文学研究科非常勤講師（一七六年四月）。
- 一九六六年 七月 群馬大学教育学部で集中講義。
- 一九六八年 八月 四国学院大学文学部哲学科で集中講義。
- 一九七七年 五月 『ルターにおける実存と神秘主義』により京

都大学文学博士の学位受領。

一九七八年 四月 大阪医科大学非常勤講師（一九〇年三月）。

一九八八年 三月 同志社大学を定年退職。

四月 同志社大学名誉教授。

一九八九年 四月 奈良産業大学経済学部教授。

一九九〇年 三月 国際日本研究所理事（一〇〇一年一月）。

一九九三年 三月 奈良産業大学を定年退職。

四月 同大学非常勤講師（一〇〇三年三月）。

二〇一〇年 四月五日 胆管がんにより逝去。享年八十七歳。

〈主な学会活動〉 日本基督教学会の専務理事を二期四年（一九七〇一七四年）、同理事（一〇〇二年九月）、以後同名誉理事。日本ルター学会理事長（一九九一〜九六年）、以後同理事など。

氏は学徒兵として南方洋上で死線を彷徨う体験（京大Y寮日誌）記述、『地塩洛水——京都大学YMCA百年史』所載）から神との秘められた対話たる祈りの信仰、思想的には神秘主義に深く傾倒し、ルター研究者と牧会者（京都、西陣教会）の生涯を歩まれた。通説に対しルターにおける信仰神秘主義の真理契機を認めようとする氏のルター研究は『人類の知的遺産（26）ルター』にその大要がまとめられているが、そこで日本のルター研究を紹介するに際し、武藤一雄教授の終末論的神秘主義の観点からするルター解釈にも一項を割き、その良き理解者であった氏を窺い知ることができると。美令夫人とご子女の上に慰めと祝福をお祈りする。（宮庄哲夫）